

Hachioji

1.15

2017
(平成29年)

地域包括ケアシステム



地域包括ケアシステムとは・・・

高齢になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるように、「予防・介護・医療・生活支援・住まい」を一体的かつ継続的に提供する仕組みを『**地域包括ケアシステム**』といいます。

▲片倉台福祉ネットワークによる活動(草取り)

地域包括
ケアシステム
を支える
5つの要素

予防

介護予防の推進による健康づくり

介護

専門職による介護サービスの提供

医療

かかりつけ医や在宅医療の充実

生活支援

互助による生活支援活動の充実

住まい

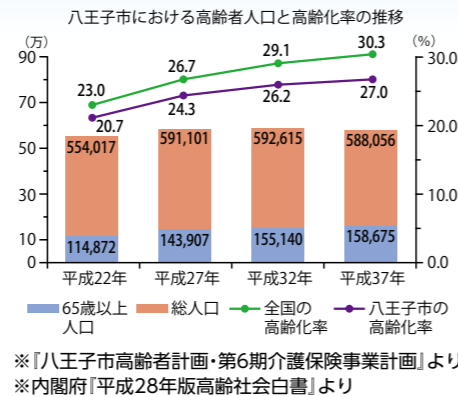
安心して暮らせる住環境の整備

「健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち」を目指して

地域包括ケアシステムが生まれた背景と『八王子版』地域包括ケアシステムのイメージ

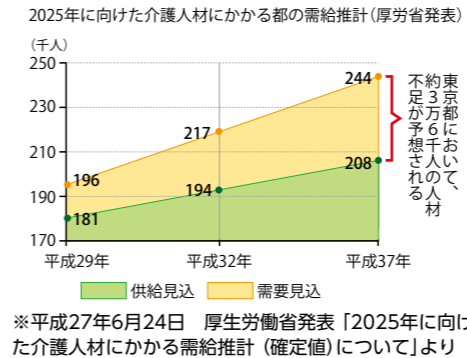
高齢者人口の増加

介護保険制度がスタートした平成12年(2000年)に全国で17.4%だった高齢化率は、平成28年9月現在で27.3%に達しており、団塊の世代が75歳を迎える平成37年(2025年)には30.3%になると見込まれます。高齢者人口の増加は、すなわち介護や医療等の支援を必要とする人が増えることでもあり、膨らみ続ける介護サービスの需要拡大への対策と高齢者を地域で支える仕組みづくりが、わが国全体の大きな課題の一つであるといえます。



介護人材の不足

高齢者人口の増加とあわせて、介護サービスの利用者も増加しています。今後、介護需要が増えれば、それを支える人も今以上に必要となりますが、介護サービスを提供する専門職(看護師やヘルパー、リハビリ職など)の不足が予想されています。厚生労働省の調べによると、介護に携わる職員数は、高齢化がピークを迎えるとされる平成37年(2025年)には国全体で約37万7千人、東京都で約3万6千人程度不足すると推計されています。



住み慣れた地域で暮らしたい

高齢になっても、住み慣れた地域で必要なケアを受けながら自立して暮らしたいと希望する人は多く、平成26年6月に本市が実施した「高齢者意識調査」、「要支援・要介護認定者調査」では、介護認定を受けていない高齢者の77.1%、また介護保険の認定を受けている高齢者の73.2%が「現在の自宅に住み続けたい」と回答しています。このようなニーズに対応するため、地域の特性をいかした切れ目のない支援を提供することが重要となります。

5つの要素が相互に連携し、身近な地域で必要な支援が一体的かつ継続的に提供できるまちづくりを推進します。

医療 かかりつけ医や在宅医療の充実

- 医療と介護の連携ガイドの活用
- 在宅医療24時間診療事業の実施 など



▶訪問診療の様子(松本クリニック)

生活支援 互助による生活支援活動の充実

- ボランティア等が行う生活支援サービスへの支援
- 生活支援にかかる担い手の養成 など



◀住民が主体となって生活支援サービスを提供(片倉台福祉ネットワーク)



◀大学と連携した地域の居場所づくり(法政大学)



介護 専門職による介護サービスの提供

- 通所・訪問、地域密着型サービスの提供
- 特別養護老人ホーム等の施設サービスの提供
- 高齢者あんしん相談センターの運営
- 認知症施策の推進 など



▲地域の身近な相談窓口として、高齢者あんしん相談センターを運営



▶認知症の理解を深める認知症サポーター養成講座を実施

予防 介護予防の推進による健康づくり

- さまざまな体操教室や健康講座の実施
- 一般介護予防サロン活動支援事業 など



▲大学との連携による体操教室を実施(帝京大学)



▲地域サロンで介護予防体操を実施(めじろ台安心なっと)

住まい 安心して暮らせる住環境の整備

◀手すりの設置等による住環境の整備

- 高齢者自立支援住宅改修給付
- 住宅用防災機器設置事業 など



「市民力・地域力」が、地域包括ケアシステムを支えます!

『八王子版』地域包括ケアシステムを目指した取り組み

生活
支援

「地域包括ケアに向け オーダーメイドの街づくり」を開催

地域住民による互助のまちづくりの重要性や実際の地域での活動を広く知っていただくことを目的として、下記の日時でシンポジウムを開催します。

- 内容：互助のまちづくりに関する講演会、地域団体の活動報告、パネルディスカッション等
- 日時：平成29年1月27日(金) 午後1時30分～4時30分(1時受付開始)
- 会場：八王子市生涯学習センター(クリエイトホール) 5階ホール及び展示室(地域活動の紹介)
- 費用：無料
- 申し込み：八王子市民活動協議会に事前に申し込みをお願いします。(定員140名：先着順)
- 問い合わせ先：八王子市民活動協議会 ☎646・1626

市民力
地域力UP!



生活
支援

生活支援活動の担い手養成研修を開催

地域の互助活動を推進し、安心かつ信頼性のある生活支援を提供することを目的とした研修を開催します。

- 内容：地域で活動するにあたって気をつけること等の基礎知識
- 日時：平成29年3月1・8・15日の三日間(要全日参加)いずれも午後1時30分～4時30分(1時受付開始)
- 会場：八王子市生涯学習センター(クリエイトホール) 10階第2学習室
- 対象・定員・費用：八王子市民(在勤・在学含む)・40名(先着順)・無料

※申し込み及びお問い合わせについては、八王子市社会福祉協議会まで(☎649・8477)

医療

介護

救急医療情報シートの配布

市では、65歳以上の方を対象に救急医療情報を記入する用紙を配布しています。氏名、生年月日、治療中の病気、服用中の薬、かかりつけの病院、緊急連絡先、医師に伝えたいことなどを記入して冷蔵庫に貼っておくことで、搬送先の病院の決定や治療の際の適切な対応が可能です。用紙は、市役所1階地域医療政策課、各事務所、各高齢者あんしん相談センター、市のホームページで配布しています。問い合わせは地域医療政策課(☎620・7292、☎621・0279)へ。



▲救急医療情報シート

高齢者あんしん相談センターについて

高齢者あんしん相談センターは、高齢者のみなさんが、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう、必要な支援や情報提供を行う相談窓口です。介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関するさまざまな支援を行うため、専門職員がご相談をお受けしています。お住まいの地域の高齢者あんしん相談センターにお気軽にご相談ください。

高齢者あんしん相談センター一覧

センター名	所在地	電話番号	センター名	所在地	電話番号	センター名	所在地	電話番号
旭町	旭町8-10比留間ビル3階	648-8331	長沼	長沼町1302-1都営長沼第二アパート16号棟1階	648-4340	子安	子安町4-10-9西村ビル4階	649-6020
高尾	東浅川町551-1東浅川保健福祉センター2階	668-2288	川口	川口町908-1川口事務所内	654-5475	もとはち南	元八王子町2-1964-2宮崎ビル101	673-6241
左入	左入町372-4	692-3211	元八王子	上巻分方町71-4	652-1134	寺田	寺田町137-1	673-6425
中野	中野町2133-8	620-0860	片倉	片倉町440-2	632-6331	大横	大横町11-35大横保健福祉センター4階	634-8666
南大沢	南大沢2-17-5	678-1880	堀之内	堀之内1206	679-1114	恩方(平成29年4月開設)	下恩方町3395恩方事務所内	準備中
めじろ	めじろ台2-55-5	669-3070	長房	長房町588都営長房アパート西22号棟1階	629-2530			

問い合わせ：福祉部高齢者福祉課 ☎620・7244、☎624・7720